

## 「神戸電鉄粟生線の更なる利用促進に向けたアンケート」の回答結果について

(以下、原文のまま記載。)

No.	<p>(問1)          神戸電鉄粟生線の利用促進のため、あなた(貴団体)が現在、または、日頃から取り組まれていることはありますか。          取組がある場合は、その内容をお教えてください。</p>
1	<p>①粟生線活性化協議会において、観光拠点であるネスタリゾート神戸と神鉄利用券がセットになった企画乗車券の販売や、三木かなもの祭りに合わせた恵比須駅前広場での洋菓子等販売を企画          ②「JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会」に参画し、鉄道利用啓発カレンダーや鉄道沿線ガイドの作成等を実施          (事務局：北播磨県民局)          ③粟生線活性化協議会、三木市及び小野市における会議・協議会等への職員の移動は原則、神戸電鉄を利用</p>
2	<p>神戸電鉄の利用促進を図るため、平成27年度より70歳以上の神戸市民にお得な企画乗車券「神鉄シーパスワン」を販売している。          利用者には好評で、神鉄シーパスワンがあることにより神鉄の利用が増えたとアンケートで回答いただいている。  <b>【令和2年度販売概要】</b>          対象者：神戸市域在住の70歳以上の方          (令和2年3月31日現在で69歳以上の方)          券種：有効期間内のお好きな10日分使えるフリー券          有効期間：令和2年7月10日～令和3年5月31日          購入可能枚数：合計で最大5枚/年度          販売期間：令和2年7月10日～令和3年3月31日          販売価格：神鉄シーパスワン(神戸電鉄全線版) 3,600円/枚          神鉄シーパスワンplus 5,900円/枚          (神戸電鉄全線及び各社神戸高速線)          販売場所：鈴蘭台駅(7月10日～8月9日は鈴蘭台プラザ)          湊川駅          岡場駅          栄駅臨時販売所(7月10日～8月9日のみ)          阪神電車神戸三宮サービスセンター(神鉄シーパスワンのみ)</p> <p><b>【令和元年度の販売実績】</b>          10,453枚(神鉄シーパスワン8,396枚 plus2,057枚)</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「神戸電鉄福祉パス」の交付</li> <li>・学校等の行事に係る神戸電鉄利用助成</li> <li>・北播磨総合医療センターへの通院等に係る神戸電鉄利用補助</li> <li>・ふるさと納税を活用した神戸電鉄の利用促進</li> <li>・三木駅の再生(新三木駅舎及び駅前広場(ロータリー)の整備)</li> <li>・昼間時間帯の志染駅～三木駅区間の増便(11時～14時台の4往復分の増便を市の施策として実施)</li> <li>・鉄道安全輸送設備等整備事業費補助</li> </ul>
4	<p>将来にわたって「神戸電鉄粟生線」を維持・活性化していくためには、イベント等による一過性の利用促進ではなく、「まちづくりと一体」となった事業実施が必要であると考えており、公共交通を利用する「まちづくり」、「交通ネットワーク」の構築を検討・実施している。  <b>【取組事例】</b> 駅と市内各地域を接続するコミュニティバスの運行          工業団地と最寄り駅を接続するバスルートの構築 等</p>

5	<p>モビリティ・マネジメントの取組（三木市内の公共交通の状況等、バスの死角、バスの乗り方及び乗車時のマナーについて説明、その他運転免許証の自主返納による特典について説明）によりマイカー移動から公共交通利用への転換を図り、鉄道＋バスの利用促進に繋げている。</p> <p>交通系ICカード全国相互利用サービス開始に伴い、当社グループのバス路線でも『スルッとKANSAI』のICカード（PiTaPa）を使えるよう移動環境を整備し、鉄道＋バスのシームレス化に取り組んだ。</p> <p>駅と工業団地を結ぶ「らんらんバス」、駅と観光地を結ぶ路線バスなど鉄道とバスのダイヤ調整を実施し、乗継時間を最大25分短縮するなど利便性の向上に取り組んだ。</p>
6	<p>連合自治協議会に属する栄駅周辺の自治会が、H30年度に「栄駅周辺住民の足を考える会」を立ち上げ、神戸市とも協力しながら、地域に根差した新たな地域公共交通の検討、バス路線の改善などによる粟生線鉄道駅へのアクセス向上などを協議している。</p>
7	<p>仕事の関係で、人と接することがよくある。その話の中で粟生線の現状や取り組みを話している。草の根的な口コミで話題づくりをしている。</p>
8	<p>自治会又はまちづくり協議会に利用促進の話をしていても団体として取り組みは前向きでない。非協力と思われる。バスの話しでは身近というか協力的である。個人としては考えているようだ。</p>
9	<p>小野地区地域づくり協議会では、毎年春に粟生線をテーマとするフォトコンテストを開催している。今年は乗車を促進するため車内からの車窓風景作品を歓迎するメッセージを付け加えた。サポーターズくらぶの入会金に500円補助している。陣屋まつりで粟生線利用者に陣屋なべの食券をプレゼント。</p>
10	<p>会員への利用促進呼びかけ 各種イベントPRへの協力</p>
11	<p>小野市のコミバス「らんらんバス」に新たに匠台ルートを新設（H29.9試験、H30.9本格）して、工業団地内従業員の神戸電鉄利用促進を図った。（匠台ルートは神鉄樫山駅～小野工業団地）令和元年度では、樫山駅の年間乗降者は約17万人となり、運行前比約36,000人増となる。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業科3年生課題研究授業（地域活性化・商品開発）の一貫として粟生線利用促進の研究を行っています。</li> <li>・放送部による放送案内、美術部の取り組み</li> </ul>
13	<p>関連会議への参加</p>
14	<p>公務での移動においては、可能な限り公共交通を利用するよう取り組んでいる。</p>
15	<p>公務での移動には、可能な限り公共交通を利用する。</p>
16	<p>公務での移動においては、可能な限り公共交通を利用するよう取り組んでいます。</p>
17	<p>関連チラシ・パンフレットの庁舎内ラックへの配架など広報活動。</p>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸電鉄粟生線を活用した利用促進イベントの実施（JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会）</li> <li>・神戸電鉄鈴蘭台車両工場見学会の実施（JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会）</li> </ul>

No.	(問2) 地域や団体の活性化を目的に既に取り組みられている施策で、神戸電鉄粟生線活性化協議会との協働(連携)により、双方の取組効果が向上するような施策があれば、お教えください。
19	沿線地域外からの利用拡大に向け、以下の取り組みを実施しており、活性化協議会と連携してはどうか。 ①「東はりま・北はりまサイクリングマップ(北播磨県民局等が作成)」の活用及び連携例) 駅周辺におけるレンタサイクル等の拠点環境整備 ②「北播磨サイクル&フットパス推進事業※(北播磨県民局)」との連携例) 鉄道利用を促進できるルートの設定、駅周辺におけるレンタサイクルやサイクルラック設置等の拠点環境整備、イベントの開催 ※北播磨サイクル&フットパス推進事業 地域資源を巡る新たな拠点環境整備、走行環境整備等により、地域の魅力向上や活性化、交流人口の拡大を図る 1) スタンプラリーイベントの開催 2) SNS (Instagram/Facebook) を活用した情報発信、情報共有 3) サイクルラックの設置等、拠点環境の整備 4) ルート案内板の設置等、走行環境の整備 5) モニター調査及びルート開発(各市と連携し全8ルート検討中)、ルートマップの作成など
20	・地域が主体的に実施する地域交通導入の検討に対し支援をしている。北区北五葉地域では最寄駅である西鈴蘭台駅から住宅地への持続可能な交通を確保するため、平成28年度より検討を開始し、令和2年1月よりコミュニティタクシー「おでかけ号」の本格運行を開始している。この事例のように地域コミュニティ交通を導入することで粟生線の駅から住宅地までの足を確保して、粟生線の利用促進につながる可能性があると考えている。 ・鈴蘭台駅前商店の集まりが実施するイベントに対し補助を行っており、沿線の活性化に取り組んでいる。活性化協議会と連携して、駅や沿線施設でイベントをPRし沿線地域からの集客を促すことで、粟生線の利用促進につながる可能性があると考えている。 ・「西区ふるさと散策のみちスタンプラリー」に「粟生線沿線散策の道」を掲載し、押部谷駅・木津駅をコースポイントとしている。活性化協議会と連携して駅や沿線施設でスタンプラリーをPRすることで、粟生線の利用促進につながる可能性があると考えている。 (令和2年度は新型コロナウイルスの影響で中止)
21	山田錦まつり及び三木金物まつり等の地域イベントと連携したイベント列車のほか、プロゴルフ選手権大会等の地域資源を活用した臨時列車の運行。
22	スタンプラリー
23	現在の状況(コロナウイルス対策)を粟生線を含む神戸電鉄がどのようにして取り組んでいるのかを知らせる手段を考えないと、ますます乗客数は下降すると思う。安全・安心して乗ることのできる方策を一般に知らせることができれば。
24	各種団体との連携し、神鉄の出前講座(松本部長の講演会)は、市が前向きに行動してほしい。
25	「花と緑で美しいまちづくり」を目指して、行政と協働し、活動していますが、町の活性化や市の良いイメージを高める上で交通機関が大きく関わっていると考えており、今後尚一層団体としての取り組みを強化させる必要があると考えます。
26	沿線各市のまつり、催事等に積極的に参加しPR活動をするべき。フォトコンテストの写真の展示・鉄道模型の走行会・グッズの販売等を通して利活用促進を発信する。
27	三木市の食・観光の推進
28	商業科より、企画乗車券の企画、販売(若い人にも利用してもらうため)

No.	<p>(問3)</p> <p>神戸電鉄粟生線活性化協議会や沿線各市などでは、粟生線の利用促進のため、これまでからもさまざまな施策に取り組んできました。</p> <p>こうした中、粟生線の更なる利用促進のためには、今後、どのような施策(取組)が必要とお考えですか。</p>
29	<p>①神戸電鉄粟生線活性化協議会において、各団体の取り組み内容を事務局から説明することが多いため、粟生線活性化に対する実施団体の主体性が薄くなっていると感じられる。そのため、実施団体が自ら取り組み内容を説明するとともに、必要に応じてワーキンググループ等において、取り組みに対する課題や連携方法等について議論するなど、各団体が主体となって粟生線の維持・活性化方策を検討及び実施することにより、沿線住民等が神戸電鉄を利用する契機となる。</p> <p>②サイクルトレインの運行(三田周辺駅-粟生駅間)</p>
30	<p>・神戸市では駅前空間の快適性や魅力を向上する施策を推進している。活性化協議会においても駅的美装化事業に駅の快適性や魅力を向上するという視点を加え、例えば、駅前を明るくするため街灯を増設する、駅施設的美装化(修繕にあわせて、デザイン性のあるものに変えて美装化を図る)などの取り組みをしてはどうかと考える。</p> <p>・定期外の利用者が増えるよう、駅での沿線施設(しあわせの村、あいな里山公園)のPRとともに、駅での駅から施設へのアクセス案内(看板設置、マップ設置、駅からバス乗継のPRなど)を図ってはどうかと考える。</p>
31	<p>・みっきいハイキング及び神鉄ハイキングの連携など、市のイベント及び交通事業者のイベントの協働(連携)による公共交通の利用促進。</p> <p>・三木駅前広場(ロータリー)の整備など、交通結節点の強化に資する施策の推進。</p> <p>・駅前広場の無料開放など、駅前空間の活用による地域のにぎわいづくり。</p> <p>・パーク&amp;ライドの推進による粟生線の利用促進。</p>
32	<p>粟生線の利用促進には、①「沿線地域住民の『乗って残す』という意識」、②「公共交通を利用できる『環境づくり』」、これに併せて、沿線地域人口の減少による沿線利用者の減少への対策として、③「沿線地域外から人が集まる『まちづくり』」が必要であると考える。</p> <p>この内、①については平成21年度からの協議会による啓発活動により、意識の醸成がなされていると考えられることに加えて、沿線人口の減少や高齢化の現状から、今後は②③に対する各市におけるアプローチの重要性が高まっているものと考えている。</p> <p>この考え方のもと、今後は経営の観点から現状に即した議論(人口減少等による将来的な収支の推移、新型コロナウイルスの影響等)する場を設けるとともに、各市における②③に関する取組を推進していくべきと考える。</p>
33	<p>・駅を中心としたまちづくりを戦略的(具体的かつ計画的)に実施していくこと。</p> <p>当社と神戸市様の事例(他線での事例も含む)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴蘭台駅、北鈴蘭台駅、西鈴蘭台駅ほか各駅前の再整備</li> <li>・有馬温泉駅、長田駅ほかの駅美装化</li> <li>・リノベーションスクール等の開催 等</li> </ul> <p>・鉄道とバスの連携・役割分担を明確化し再編すること。</p> <p>・目標や取組が維持存続に向けて適切かつ効果のあるものとなっていること。そして何よりも、策定した目標は必ず達成するとの意識を持ち、各主体がきめ細かくPDCAを回し、具体的に行動すること。</p>
34	<p>サイクルトレインやサイクリストの休憩拠点づくりなど、鉄道+自転車をも想定した粟生線の利用価値を高める施策</p>
35	<p>沿線市において自転車活用推進法に基づく自転車活用推進計画の策定が進められている。自転車は通勤・通学・買物など日常生活だけでなく観光やレジャーなど幅広い用途や世代へと浸透しつつある。サイクルアンドライド等、自転車を活用した取組も効果があると考えられる。</p>
36	<p>具体的に言えないが、話題性のあるキャンペーンや乗車すればする程、運賃が下がるようなお得な制度を導入する。免許返納者に対する特典の付与。</p>

37	運転免許を返納した高齢者が任意に作成している「運転経歴証明書」を駅の窓口等で提示すれば、回数券をプレゼントするなどの特典を設ければ利用促進につながるのではないかと。
38	「栄駅周辺住民の足を考える会」でも協議事項の一つに上がっているが、町内でも利用客数の一番多い、栄駅について、駅前周辺のインフラ整備（バスロータリー、人やタクシーの快適な滞留空間の整備など）は重要と考えているため、引き続き協議していく。
39	今までの施策を続けること。沿線の人々にどう認知してもらうか。地道な活動が必要。特に今のコロナウィルスの状況を考えると「安全のためにこのような取り組みをしている。」と具体的に知らせることが必要。
40	栗生線サポーターズくらぶが計画されたのは、毎年大人も子どもも楽しめる行事を続けてほしい。費用面では神鉄の後押しが必要。
41	人口減が加速する中、高齢化を考えた車社会から交通機関利用社会に移行するのは必ずやってきます。行政と連携した取り組みとして、商業施設の増設や工業団地へのアクセスをこれまで以上に考えたまちづくりが必要と思います。
42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺のにぎわいづくり</li> <li>・沿線外への情報発信の強化</li> <li>・市営地下鉄等、周辺鉄道会社との連携</li> </ul>
43	<p>コロナ対応</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) より安全な利用のための施策（消毒・注意喚起等）</li> <li>2) 栗生線の比較優位のPR（ガラガラ、換気十分）</li> </ol>
44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日、子供無料などのキャンペーンで家族を乗せる機会を増やす対策</li> <li>・無人駅または駅舎の利用（アートで彩るなど）</li> <li>・若い人から意見を聞いたりできる交流の場を作りたい（商業科）</li> </ul>
45	各市役所・教育委員会（学校園）と連携したMM。その意味では委員になっておられる方々が一体となって行う活動が増えればと思う。（これは報告会のような会議と市民委員の皆さんに思われてしまっているのではないかと）
46	<p>栗生線での観光型MaaSの実施 （一例として） 栗生線フリーパス、飲食店クーポンの販売、駅シェアサイクルの予約をMaaSアプリ等で行う。 沿線の観光地や、知られていないインスタ映えスポットを、写真コンテスト等で掘り起こし、各スポットを掲載した沿線マップを作製、公共交通や、シェアサイクルを利用して巡回する乗り継ぎダイヤを考慮したプランをマップやアプリで提案。 協力店を募り、飲食店クーポンを発行。地元特産品を使ったB級グルメの開発（掘り起こし）。</p> <p>※国土交通省では、令和元年度、2年度にMaaS実証実験に対して補助を実施 参考URL： <a href="https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000132.html">https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000132.html</a></p>
47	沿線住民の理解のもと、新たな交通サービスとしての「MaaS」の導入も検討いただきたい。
48	沿線地域イベントと連携した利用啓発・利用促進活動は多種多様な素晴らしいプログラムがあるが、知られていないのではないのでしょうか。広報の仕方を今一度見直されては如何でしょうか。（神戸市内など隣接市からの顧客の掘り起こし。）
49	新規利用者の開拓を目的とした、沿線周辺のイベントや観光資源等に関する情報発信の強化。
50	沿線住民の鉄道利用促進（パークアンドライド等）

No.	(問4) 粟生線の更なる利用促進のため、あなた(貴団体)が神戸電鉄粟生線活性化協議会の他の委員と協働(連携)して取り組んでみたい施策があれば、その内容をお教えてください。
51	「北播磨サイクル&フットパス推進事業」との連携
52	令和2年度に「三木市自転車活用推進計画」を策定予定であり、県及び関係機関と連携を図りながら、自転車及び徒歩を活用した公共交通の利用促進や地域の活性化を検討。
53	現在、整備が進む「ひょうご小野産業団地」の本格稼働に合わせて、同産業団地と神戸電鉄の駅を接続するバスルートを構築することにより、神戸電鉄粟生線の利用促進を図りたいと考えている。
54	セット券(鉄道+路線バス+観光施設・体験施設など)
55	可能であれば交通安全キャンペーンを連携して取り組んでみたい。
56	通学・通勤の乗客数は計算できるが、一般乗客数を増加させる方法が難しい。「不要不急以外の外出はひかえて下さい。」との言葉がなくなる限り、乗客数の増加は望めない。どの鉄道も同じだろう。政府のGO・TOキャンペーンも6割以上の人が旅行しないと答えている現在、どのような取り組みがあるのか思案中。
57	駅ホームにギャラリーを掲示するとか、健康相談の案内(志染駅だけかな)出来れば血圧計を設置するとか。
58	神戸⇄粟生の往来を多くする為には、町と町の行き来を楽しめるような、人と人の心の通じる世の中になるように。私たちができることは、車窓からの美しい景色を保ち、形成し、人々の心に訴えることだと思っています。
59	コロナ下での食・観光の復活のための施策 混雑がなく、空気がきれいな三木のPR
60	商業科・・・沿線イベントのサポートなど
61	神戸電鉄(株)と協力して、沿線事業者と連携した長期継続イベントの実施。(山田錦PRを兼ねた酒蔵コラボイベント等)

No.	上記のほか、その他の意見や提案などがあれば、御自由に記載してください（自由記載欄）。
62	<p>鉄道利用者の快適性向上や沿線地域の活性化に向け、以下の取り組みを実施</p> <p>①粟生線活性化協議会における駅美装化事業を計画的に推進することに加え、地域住民による駅美装化活動（花壇整備や駅前広場清掃等）の活性化に向けた支援や情報発信</p> <p>②席数を増加させるための前向き座席車両、車窓から常に景色を見ることができる外向き座席車両など、利用者目線の車両導入を検討</p> <p>③駅を利用してもらえる「まちづくり」に向け、駅周辺の高度利用化や、市街地化の促進、地域毎の特色ある「まちづくり」の推進・PR、駅から観光拠点等への多様なアクセス確保（レンタサイクルなど）などを検討</p> <p>④駅前広場における朝市開催など、粟生線利用促進活動を実施する地元団体（大塚日曜朝市の会）等への支援の継続と地元主体の粟生線利用促進活動の啓発</p> <p>⑤粟生線活性化協議会が実施する事業に協力いただける地元団体の発掘と連携強化</p> <p>⑥粟生線利用促進に繋がる新たな観光資源の発掘</p> <p>⑦官公庁職員の通勤時の利用徹底（パーク＆ライド含む）。企業への通勤利用等の呼びかけ。</p>
63	<p>沿線市、県、警察を含む行政、交通事業者及び地域住民から構成される25名の委員とオブザーバ6名の計31名から成る本協議会は、粟生線の活性化について市民とともに議論できる唯一の会議体であるにも関わらず、“乗って残そう”の具現化に向けた実りある議論がなされておらず、「事務局側からの協議会による事業に関する報告」及び「神戸電鉄株からの利用状況報告」をするだけの会議になっているように感じる。</p> <p>今後においては、市民委員も積極的に発言をできるような会議の進行や雰囲気づくりにも努めていただき、市民意見も考慮した実効性のある施策を実施いただきたい。</p>
64	<p>粟生線の維持存続は、同線が一民間企業の資産ではなく、鉄道を利用されない方も含めて地域全体が恩恵を受ける共有の財産（公共財）であるとの認識が共有でき、かつ交通事業者、関係自治体、そして地域の皆さま等の関係者が真の連携・協調体制を築いていけるか否かにかかっていると思料いたします。</p> <p>神戸電鉄粟生線活性化協議会は2009年に発足して早や10年が経過しましたが、我々は未だそうした意識の共有が図れず、将来の展望を示すことができずにあります。そうした中、今般のコロナ禍や新たな日常（ひょうごスタイル等）への転換により、粟生線は正念場を迎えようとしております。</p> <p>利用促進はもちろん大事なことです。協議会発足後10年間で実利用者が推計約137万人も減少し、今後も800万人台への回復すら望めない状況下で、粟生線を今まで通りの形で全区間にわたり維持していくことは困難であり、維持・運営に対するしっかりとしたサポート（政策的な裏付け）が不可欠です。さらに付言すれば、将来に対する展望もなくして利用促進に本腰が入る道理がないことはこれまでの結果からも明らかであり、サポート体制の構築に向けた経営政策的な議論が重要と考えます。</p> <p>本協議会では、現神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画の策定時に、首長クラスによる会議体（仮称・戦略会議）を立ち上げ、経営政策的な議論を別途行って計画に反映させるとの方針が示されましたが、これは諸事情により未だ実現に至っておりません。こうしたプロセスが欠如し、将来の展望やビジョンの共有がされていないからこそ、計画が有効に機能しない（路線の存続という最終目標に向けての決定打が得られない）のだと思われます。</p> <p>焼失した三木駅の再整備では、地域の皆さまをはじめ地域から転出された方、全国の鉄道ファン・関係者等から多くの励ましとともにご寄付もいただきました。かかる状況に至り、さらに不安が増している中で、皆さまの想いにきっちりとお応えし、将来の展望を早急にお示しすることが、粟生線の維持存続に責任を負う神戸電鉄および関係自治体の責務と思料いたします。</p>

65	地域おこしに優れた人材や団体など、多様性に富んだ意見を求められるよう、オブザーバーとしての参加など、予め規約に定めておく。
66	<p>1 ラッピング車両の導入</p> <p>(1) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラッピング車両を導入し利用促進を図る。</li> <li>・子供が乗りたいというラッピングを行う。</li> <li>・各市をピーアールするラッピングを行う。</li> <li>・年4回実施される交通安全運動ラッピングもできれば、ありがたい。</li> <li>・その他、マニアが興味をそそるラッピングを行う。</li> </ul> <p>(2) 広報</p> <p>神鉄・市が積極的な広報を行い、通勤・通学以外の者の取り込みを行う。</p> <p>2 高齢者の利用促進</p> <p>デマンド型交通との連携を図るなど、高齢者の買い物・通院に利用されるように利便性が向上する施策を導入する。</p>
67	高齢者運転免許自主返納サポート協議会に加盟し、神戸電鉄として高齢者の免許返納者のサポートを行うとともに回数券を配布するなどすれば、利用者が増加するのではないか。(粟生線限定にするのは、困難かも知れませんが)
68	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とりとめもないことを書きましたが、今現在の状況を考えると新しい施策が思い浮かべることができないのが現状です。</li> <li>・わが家でも、コロナウィルスが流行するまでは、月に4～5回粟生線を利用して神戸に出ていましたが、3月以降ほとんど利用できていません。外出もできる限りひかえて自宅ですごしているのが現状です。今は「自分の身は自分で守る」という意識が高いので外出や移動自粛がうすらぐまで安全・安心の取り組みをアピールするしか方法はないと思います。</li> <li>・「関西ローカル鉄道物語」を読ませていただきました。神戸電鉄の魅力がたくさんありました。ファンの方にとっては本当に素晴らしいものがたくさんあるのでしょうか。「灯台もと暗し」で何十年も利用している私にとっても神鉄があることがあたり前で空気のように感じておりました。山岳電車に近い急勾配や美囊川にかかるカーブのある鉄橋。他の鉄道にない魅力です。あらためて考えるとワクワクするような体験ができそうです。このような特色もアピールする方法の一つではないでしょうか。</li> </ul>
69	<p>1. 高齢者大学で令和元年7月4日に神鉄松本部長が粟生線存続問題をテーマに講演会があった。その後ないと思うが、各自治会として前向きないので、粟生線活性化協議会として、粟生線存続問題をテーマに講演会開催を計画していただけないでしょうか。</p> <p>2. 粟生線の利用状況について、コロナの影響で減少が大きいですが、人口減少率も考慮して欲しい。(平成4年0として)</p> <p>3. 粟生線の利用状況は、平成4年境に減少しているが、神鉄粟生線として補助金として国・県・神戸市・三木市・小野市・三田市よりあり赤字かもしれないが、神戸電鉄は黒字決算である。このような状況を考慮した説明が欲しい。</p> <p>4. 粟生線サポーターズくらぶに協力していきたいと思っています。</p>
70	<p>これからは、乗車を目的とした利用・観光を目的とした利用を促進する施策を考えるべき。旅行の大きな要素である観る(絶景)、食べる(地場産品・グルメ)、買う(土産)は沿線各市にはまだまだ多く埋もれていると思います。各団体と連携をとって発掘、再発見をして「粟生線再発見」を強力に推進してはどうか。身近なものは気が付きにくいですが初めて見る人にとっては興味深く素晴らしいものである事がよくある。もちろんこれには鉄道の車両・施設なども含まれます。ないものねだりするよりあるものを発掘・再発見して利用すべき。又、最寄駅よりのアクセスをバスで何分、徒歩で何分というようにはっきりとした表記が必要。</p> <p>又、神鉄さんには、インパクトのある車両、話題性のある車両の投入をお願いしたい。マスコミに取上げてもらえば全国にPRでき、鉄道ファンが集まると思う。</p>
71	<p>沿線地域にとって将来が、粟生線およびそれを幹とした公共交通ネットワークがちゃんと機能しているからこそ、拓かれるという意識を、皆さんにもっともっていただけるようになれば、と思います。</p> <p>「とりあえず、乗りましょう」とか継続性のない(薄い)イベント開催では、活動しているようですが、実はあまり意味がない、効果がないのではないかと考えています。</p>



72	<p>地方創生臨時交付金を活用した公共交通に対する支援をお願いいたします。</p> <p>5月に地域公共交通活性化再生法が改正（施行6月以内）され、これまでの「網形成計画」は「地域公共交通計画」となり、計画は「作成できる」から「作成が努力義務化」され、「地域における輸送資源の総動員」が求められます。</p> <p>次期計画におかれましても、鉄道とバスの連携や、地域の力を最大限生かした公共交通ネットワークの構築計画の作成をお願いいたします。</p>
73	<p>地方公共団体の皆様におかれましては、地方創生臨時交付金を活用した公共交通に対する支援をお願いいたします。</p> <p>次期計画は、本年5月に改正（6月以内に施行）された地域公共交通活性化再生法のもとの「地域公共交通計画」を作成することとなります。「地域における輸送資源の総動員」が求められており、これまで以上に鉄道とバスの連携など、地域の力を最大限生かした公共交通ネットワークづくりをお願いいたします。</p>